

STEP1

Webページで使われる画像

1 画像のファイル形式を知ろう

画像のファイル形式にはさまざまなものがありますが、OSやブラウザを問わず表示できるファイル形式として代表的なものに「GIF形式」と「JPEG形式」があります。インターネット上ではファイルサイズの大きな画像は敬遠されるので、画像のファイルサイズを小さく保存できるGIF形式やJPEG形式といったファイル形式を利用します。

① GIF形式

「GIF形式」は使用する色数を少なくし、横方向に連続する同じ色の部分をまとめることでファイルサイズを小さくする形式です。使用できる色数は2色から256色まで自由に設定できます。

また、GIF形式では背景色を透過したり、パラパラマンガのようなアニメーションにしたりすることができます。

※背景色を透過した画像を「透過GIF」といいます。



→256色 60KB



→128色 47KB



→64色 36KB



→32色 26KB



→16色 20KB



→8色 14KB

② JPEG形式

「JPEG形式」は、色から色へと移行していくグラデーション部分をまとめることでファイルサイズを小さくする形式です。画質を低くすることでファイルサイズが小さくなりますが、画像に歪みが発生することがあるので注意が必要です。

色数は1670万色(フルカラー)まで使用できます。



→画質90 79KB



→画質70 43KB



→画質40 20KB



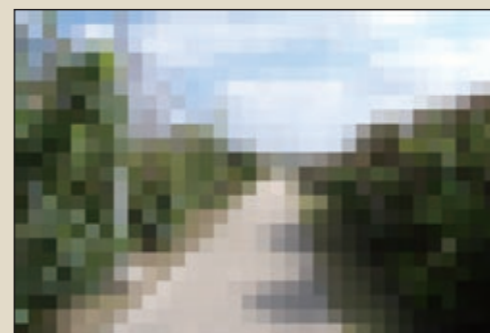
インターレース表示とプログレッシブ表示

インターネットで画像を表示する方法として、2つの方法があります。

● 精細な画像を少しずつ上から表示していく



● 最初に粗い画像が表示され、次第に精細な画像に変わっていく



上側は一般的な画像の表示方法ですが、下側は「インターレース表示」(GIF形式)または「プログレッシブ表示」(JPEG形式)といわれる方法で、GIF形式でもJPEG形式でも利用できる方法です。

インターレース表示またはプログレッシブ表示では、何の画像かぼんやりと表示することで、閲覧者に必要な画像かどうか判断させることができます。必要でない画像の場合はすぐに別のWebページに移動できるので、「表示されるまで待たないといけない」という閲覧者のストレスを軽減できます。